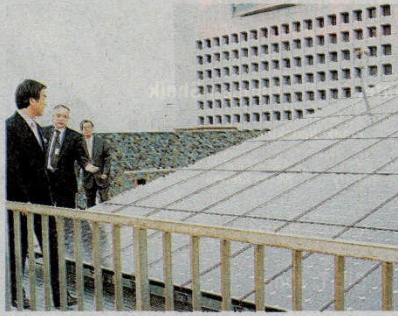


## 県庁舎屋上に60枚

### CO<sub>2</sub> 年1.5トンを削減に期待

県庁新庁舎の屋上に設けた太陽光発電システムが26日、稼働を始めた。写真。地球温暖化防止に取り組む県が、率先して温暖化防止



を進める姿勢の表れで、横浜市中区の県庁舎では初めて。新庁舎全体の約0.4%の電力に相当し、年間で5万56万円の電気代節約になり、約1.5トンの二酸化炭素削減につながるという。60枚のソーラーパネルを使い、発電容量は5キロワット(蛍光灯換算で約125本分)で、年間で約4600キロワット時の発電量を想定する。既存の電力と併せて新庁舎内の各事務室の照明などに使われる。事業費は約1850万円。屋上と一階ロビーにその日の発電量と二酸化炭素削減量などを表示する。

# 広がる太陽光発電

## 動物絵はがきで資金募る

### ズーラシア、9月末設置目指す



絵はがき(5枚組み500円)を販売した資金を元に、よこはま動物園ズーラシア(横浜市旭区)に太陽光発電装置を設置するプロジェクトが始まっている。代表のフリー編集者徳留佳之さん(52)は「フリー編集者徳留佳之さん(52)」写真、同区は「プロジェクトをきっかけに、環境に興味を持つ人が増え、エコな施設に育ってほしい」と期待する。

開港150周年記念事業「開国博Y150」の一環。ズーラシアに隣接する「ヒルサイドエリア」では、市民が主体となる企画が募り集され、日頃から環境問題に関心のあった徳留さんがプロジェクトを考案した。絵はがきはズーラシアにいるオカピ、インド象、レッサーパンダなど7種類。同区在住のカメラマン佐藤幸稔さん(51)が撮影した。目標は200万5350万円。開国博が閉幕する9月末までに、園内にある獣舎の屋根に35キロワットの太陽光発電装置を設置したいという。1万円分を購入し、周囲に配る「絵はがきサポーター」も募集している。問い合わせはホームページ(http://ec-pr.net/zoosun/)。

### ■コメント

1. 「絵はがきサポーター」は「1万円分を購入」と書いてありますが、基本的には**事前に買う必要はなく**、1万円分(20セット)を目安に**お預けし、残っても構いません**。預かっただけのお店も募集中です。6月までを目安とし(8月まででも可)、**有償頒布できた分だけを精算**しますので、是非ご協力ください。
2. 「9月末設置」とありますが、正確には9月上～中旬までに設置を考えています。Y150ヒルサイドの会期中9/22～27に出展・発表するため、それ以前の完成・お披露目が目標です。
3. 「絵はがきを販売」と書かれていますが、正確には「有償頒布」となります。編集デスクの判断で、わかりやすいように、あえて「販売」としたそうです。

※今回の記事は、**横浜市と川崎市全域**での配達・販売分に掲載されているそうです。